

令和7年度 「学校評価報告書」



岩見沢市立明成中学校



【学校の概要】

学校名	岩見沢市立明成中学校							
校長名	松野 岳彦				教職員数		19名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	2	2				3	9
生徒数	52	45	39				10	146
住 所	岩見沢市かえで町1丁目1番1号							
電 話	0 1 2 6 - 2 4 - 3 4 8 5							
FAX	0 1 2 6 - 2 4 - 4 0 0 8							
UR-L								
e-mail	meiseic@edu.hamanasu.com							

I 校訓・学校教育目標・校章

I 校 訓 (昭和60年4月1日 制定)

聡 明 (知)

- ・未来への夢や目標を持ち 進んで努力することができる生徒
- ・自信をもって判断し 自分の考えを発信・表現することができる生徒

敬 愛 (徳)

- ・仲間の思いを尊重し 力をあわせて物事を成しとげることができる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れず 礼儀正しく 自ら大きな声であいさつすることができる生徒

躍 動 (体)

- ・新しいこと 困難なことに挑戦し 可能性を高めることができる生徒
- ・生徒会活動等に進んで参加し明成中の発展に貢献することができる生徒

2 学校教育目標 (昭和60年4月1日 制定)

(1) 知性を磨き 真理を探究する生徒

- ・高い理想をもち、たゆみなく努力する人
- ・正しい判断をし、実践する人
- ・豊かな創造力をもち、未来を拓く人

(2) 豊かな心情をもち 自他を尊重する生徒

- ・思いやりの気持ちを持ち、協調できる人
- ・自然や人を愛し、美に感動する人
- ・謙虚な心で、礼儀正しい人

(3) 心身ともにたくましく 粘り強く実行する生徒

- ・自分を鍛え、困難なことにも挑戦できる人
- ・勤労の精神をもち、明るい環境をつくる人
- ・平和を求め、国際社会に貢献できる人

3 校 章



創案者 道展会員 宮川 美樹 氏

- ・明成中学校の「明」の文字を形象化
- ・岩見沢市の市章を表すと同時に光を放ちながら、未来へ発展する生徒の創造的な精神を燃える太陽の中心に据えた
- ・三つの「校訓」「教育目標」の緊密な調和、生徒と教師、父母の三者の緊密な結びつきから、理想とする焦点に手を取り合って歩む様を表現している
- ・飛翔する鳩の翼の形には、平和な理想社会の建設を目指す、人類の根源的な願いも込めている。

II 中期及び単年度の具体的目標

令和7年度の経営方針に向けたキーワード

全力・**本気**・**根気**

～挑戦・協働・貢献 支え高め合う集団～

共通言語を継続・徹底

- スローガン「同じ山に登る」
- 組織で動く「チーム明成」
- 理念「学校づくり=授業づくり」

- (1) 「今が全力、今が本気」を生徒自らが問い直し、めげず、くじけず、根気強く・粘り強く取組む態度を養う。
「挑戦・協働・貢献」を通して、個の力を高め、集団として「支え合うこと、高め合うこと」の達成感や充実感を体感させたい。
- (2) 同じ山の山頂「学校の教育目標達成」を目指し、本校の目指す学校の姿を創造する。

「**学び続ける学校**」 「**社会とつながる学校**」 の創造

III 各種具体的な計画

「**学び続ける学校**」 に向けた取組

1 学習者主体の授業づくりの徹底・一人一人の子どもを主語にした教育

- (1) 学力向上のための積極的な授業づくり「誰一人取りこぼさず、一人一人を伸ばす」
 - ① 学習環境整備、授業力の向上
 - ア 個別最適な学びと協働的な学びの充実(UDLの要素)
 - イ 学習規律の徹底、学習スキルの向上
 - ウ 教師の資質・能力の向上(校内研修・小中一貫研修・個人研修・外部機関研修)
 - エ 子どもとの対話を大切に、明成スタイル「主体的・対話的で深い学び」による学び
 - ② 確かな学力を育む
 - ア 基礎的、基本的な知識及び技能 (活用できる知識・技能等)
 - イ 課題解決に必要な思考力・判断力・表現力 (考える力・プレゼン力等)
 - ウ 主体的に学習に取り組み、多様な人と協働する態度 (高め合う力・対話力等)
- (2) ICTを効果的に活用した学び
 - ① iPadの効果的な活用
 - ② デジタル教材活用

2 全ての教育活動で岩見沢型ピア・サポートを土台とした学校づくり「生徒の心に寄り添う教育」

- (1) 授業(各教科・道徳・総合)、特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)、部活動など
- (2) 生徒理解と人間関係づくり(生徒と生徒・生徒と教師・教師と教師)
 - ① 一人一人の心に寄り添う生徒支援(今より伸ばす生徒支援)、インクルーシブ教育
 - ② 不登校・いじめを生まない集団づくり、いじめを見逃さない組織づくり
 - ③ 縦割り活動の充実
 - ④ 対話を通してお互いを尊重し、高め合う集団づくり
 - ⑤ 心理的安全性が保たれる環境づくり(教室・職員室)

3 その他

- (1) 岩見沢市教育方針の達成
- (2) 岩見沢型ピア・サポート研修での学びを日常の教育活動に導入
- (3) 授業時数特例校制度を活用した教育課程の工夫・改善

「社会とつながる学校」に向けた取組

I 信頼される学校づくり

- (1) 日の出小・明成中「学校運営協議会」を核とした学校と地域が協働する取組
 - 小中一貫での取組 「目指す子ども像・研修テーマ・学校評価項目の統一、成果と課題のまとめ」
- (2) 幼・小・中・高との連携 「日の出・明成 小中一貫教育の充実から、さらなる地域連携へ」
- (3) 学校の取り組みを情報発信 ・ 地域の「強み」「誇り」を共有
 - ① 学校だより・学級だより・PTA 明成ジャーナルオンライン・テトル等を活用した発信
 - ② 「チーム明成」の拡大
 - 〈本校の生徒・保護者・教職員・日の出小児童・日の出小保護者・日の出小教職員・地域全体〉
 - 地域の特性、強み、誇りを日の出地区全体で共有

2 教育の質を上げるために、実効性のある「働き方改革」の推進 ・ 目に見える変化へ

- (1) 教育活動の質の改善に向けた協議 「個人 → 学年・分掌 → 企画委員会 ・ カリキュラム検討委員会」
- (2) 岩見沢市の部活動改革との連携

3 継承と変化・進化の学校づくり 「変化することによる新たな学校の文化」

- (1) 良いものを続けるためには常に変化を恐れない
- (2) 現状を把握し、まずは変化・進化の一步を踏み出す(必要なものを必要な分だけ)

IV 各種評価結果と改善策、資料

- 学校評価アンケート (生徒・保護者) 4 頁～5 頁

V 学校関係者評価を受けての改善策、資料

- 学校運営協議会における資料 6 頁～7 頁
- 次年度に向けた改善策等の資料 8 頁



課題の共有から改善へ

今年度の学校評価アンケートにご協力をいただきありがとうございます。昨年度の結果と比較して分析したところ、

全体的に改善傾向にあることがわかりました。今後も生徒・保護者の皆様と学校が一体となり、学校評価の結果を通して本校の課題を共有し、組織として取組の充実・改善に繋げられるよう推進してまいります。

引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

生徒・保護者の皆様に同じ項目でアンケートを実施し、5段階にて評価をしていただきました。

思う

どちらかと言えば
そう思う

どちらかと言えば
思わない

思わない

わからない

生徒の声

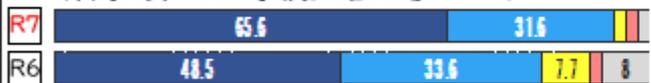


1 授業はわかりやすい

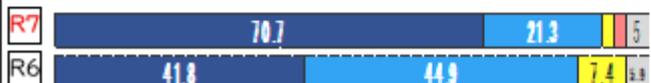


授業に対する肯定的な評価は、昨年度より8.3ポイント上昇しています。今後も明成スタイル授業や授業時数特例校制度を通して、学校課題である「思考力・判断力・表現力」の育成につなげます。

2 仲間と安心して学校生活を送っている



3 先生はどの生徒も認め、理解してくれている



4 問題が起きたとき素早く対応してくれる



5 失敗を恐れずチャレンジしている **挑戦**



6 仲間の個性を受け入れ、支え合っている **協働**



7 誰かのために行動している **貢献**



全ての教育活動に目指す子どもの姿である「挑戦」「協働」「貢献」を位置付けた成果が見られます。特に「協働」は、3学年で肯定意見が100%となり、子ども達に達成感が生まれたことがうかがえます。

保護者の声

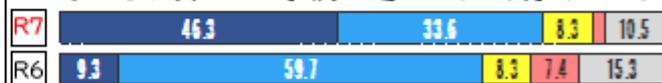


1 子どもにとってわかりやすい授業を行っている



昨年度よりも肯定的な回答を多くいただきました。個に寄り添う学習支援(UDL)を基盤に、生徒の学力向上を目指して、さらなる改善に努めます。

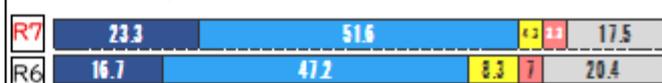
2 子どもが安心して学校で過ごせるよう努めている



3 子ども達1人1人を理解してくれている



4 生徒指導上の問題に迅速に対応している



5 保護者・地域の信頼に向けて連携に努めている



6 子どもの様子を積極的に伝えるよう努めている



昨年度よりも肯定的な回答を多くいただきました。「小学校との連携がある」「PTAや地域とのつながりが強い」等のお声もいただきました。今後も未来を担う子ども達の成長を支える当事者として、学校、保護者・地域の皆様と連携・協働する明成中学校区を目指してまいります。今後も皆様のお力添えをお願い申し上げます。

現在の明成中学校で 誇れること・自慢できること

令和7年度の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本校の誇れることについて、生徒や保護者の皆様からいただいたお声は、職員にとって大変励みになり、「子ども達のために、明日からまた頑張りたい!」という活力となりました。今後の課題へのご意見は、真摯に受け止め、改善に努めてまいります。保護者の皆様のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

生徒の声



- ・トイレがきれい(複数)
- ・エアコンがある
- ・給食がおいしい
- ・みんなが挨拶している(複数)
- ・朝や授業前の挨拶がいい
- ・挨拶が多く、先生も怖くない
- ・みんなが楽しく過ごせている
- ・毎日が楽しい
- ・楽しく学校に行けること
- ・行事が楽しい、先生がいい人
- ・キャラクターが可愛い
- ・笑顔があふれている
- ・明成中は楽しくて面白く、良い中学校です。
- ・生徒みんなが元気なところ
- ・この学校にいる先生や生徒はみんな元気
- ・みんな仲が良く、雰囲気が良い
- ・クラス分け隔てなく仲が良いと思います。
- ・仲良く協力できる、全校で仲がいい!!
- ・先輩とギスギスしないで居心地よく過ごせる
- ・縦割り活動が多いから、他学年と仲がいい。
- ・先生と生徒が仲良く話しやすい
- ・みんなと助け合えること
- ・明るく元気で仲間を思いやること
- ・1分前の私語禁止の注意とか、切り替え
- ・チャイムが鳴らない
- ・時間を見て行動できること
- ・校歌の歌詞がいい、歌がうまい!
- ・明成タイムがあるのが良い(複数)
- ・勉強が楽しくてわかりやすい
- ・担任の先生が優しいし、英語の授業が楽しい、前よりも英語が読めるようになった。
- ・授業がとってもわかりやすい、勉強が楽しい
- ・社会の先生の授業がわかりやすい
- ・授業がスムーズに進んでいるところ
- ・期末テストではなく単元テストの方が頭に入るからいいと思う。
- ・定期テストがないことで、常に勉強する時間をもつことができる



保護者の声



- ・挨拶が素晴らしい(複数)
- ・みんなが元気(複数)
- ・仲間を思いやる気持ち
- ・仲間意識の強さ
- ・学年関係なく仲が良い
- ・先輩、後輩関係なく、みんな仲が良い(複数)
- ・楽しく学校に行けること
- ・生徒主体で行事を行っているところ
- ・生徒は優しい子が多い。素晴らしい先生ばかり
- ・生徒数が少ない分、先生たちが手厚く生徒を見てくださるところ
- ・小規模校ならではの家庭的なあたたかい雰囲気、優しい先生たちと安心して過ごせる環境
- ・人数が少ないですが、その分生徒一人一人に目が届きやすいのではないかと思います。
- ・少人数、そして小学校からの同じメンバーゆえに子どもの変化や困りごとに気づきやすい
- ・教員と先生との関係が近いこと
- ・良い教師ばかりだと思います。
- ・ホットタイム(毎日の教育相談)があることは素晴らしいと思います。
- ・生徒指導上の問題に迅速に対応している
- ・担任の先生は子どものことを理解し、上手く接してくれていることがありがたく感謝です。
- ・担任が素晴らしいです。
- ・どの先生も、生徒個人を見て理解してくれていると思います。
- ・日の出小への学習支援(明成塾)、合唱交流会など、小学校との連携があること、また、サマフェスで地域づくりに生徒が関われること。
- ・明成中、日の出小で一緒に行事があるところ。サマフェスやスノフェスでは小中が一緒に参加できたり、触れ合える機会があったり、とってもいいと思います。
- ・地域活動が積極的。
- ・地域の方の協力がある
- ・地域とのつながり、PTAと地域の関わりが強いところ
- ・制服が個人の考えでスカートかスラックス、ネクタイかリボンなど選ぶことができ、画一的でないところが良いと思います。



今後さらに明成中学校を よくするための方策・ご意見



【学習に関すること】

- ・今の単元テスト方式は、受験対策になるのか疑問があります。テスト期間や範囲の広いテストの経験ができればよいです。
- ・単元テストの廃止



今後に向けて取り組むことをまとめています

単元テスト形式にして、入試の点数や学力テストの点数で顕著な低下は見られませんが、生徒からは肯定的な声も多数あり、単元テスト形式に慣れてきているので継続すべきかと考えます。テスト範囲が広いテスト対策は、学力テストで対応できると考えます。

- ・生徒が放課後に自主的に学習できる機会があると助かります。家だと集中がしづらいようです。

生徒会企画の放課後学習会や教科担任が企画している補習を利用していただけるようご家庭でもお声かけをお願いします。

【生活に関すること】

- ・どの子にも平等なきっかけ作りをしてほしい。子どもには学校で嫌なことも失敗等も学ぶ場だと思うので挑戦してほしい。子どもの失敗や問題発生時に一人に責任がいかない配慮や子ども同士の問題に保護者がいきなり関わることはないよう、保護者の協力も必要。

リーダーへの挑戦であれば、学級委員に限らず、班長やさまざまなグループ活動における役員など、幅広い場面で挑戦する機会があります。生徒一人一人がこうした役割にも目を向け、自分の力を発揮できる場を見出しながら、活躍できるよう支援していきます。

- ・普段の様子が見えないので、何とも言えないですが子どもがマウントの取り合いなので、このままで良いのか方針があれば教えていただきたいです。

ピア・サポートプログラムを活用しながら学級づくりを進め、生徒同士の横のつながりを一層深めていきます。互いに認め合い、大切な存在であることを共有できる集団作りを目指します。

- ・メリハリのある姿勢がもっとあればよいと思います。

授業・行事・休み時間など TPO に応じた言動を指導します。

- ・生徒一人一人と向き合ってください。

日常生活での関わりは勿論、教育相談や学年で取り組んでいる放課後お話しタイムを活用し、個別の寄り添いを強化します。

- ・不登校などそのような子たちにもっと寄り添いを

本人・保護者と対話を重ね、思いを共有しながら支援を継続しています。安心できる関係作りを土台に成長を支えていきます。

- ・生徒への平等な対応、生徒指導時の対応強化

生徒支援委員会を中心に、教員間で連携を図りながら個々の支援を行っています。今後も引き続き、連携を強化していきます。

- ・たまに危険な自転車通学の生徒を見るので、通学時の安全面が良くなればよいと思います。

交通安全教室で正しい乗り方、事故防止等を指導しています。次年度からヘルメット着用を義務化し、更に安全を意識します。

- ・給食時に割りばしも許可してほしい

お箸を忘れた時のために、学校で貸し出し用を準備していますので、必要に応じて利用してください。

【部活動・校舎施設に関すること・その他】

- ・部活動を増やしてほしいです。
- ・色々な部活動が増えるといいと思います。



岩見沢市では、児童生徒数の減少を背景に部活動の拠点校化やクラブ化の支援を進めています。スポーツ庁・文化庁は令和13年度までに休日の部活動を地域へ移行する方針を示しています。本校においても同様の方向性で在り方を検討していきます。

- ・冬がとてもしんどいので、建て替えなども検討
- ・エレベーターの設置があるとありがたい
- ・冬の廊下の結露対策

校舎整備については、市教委と連携して対応を行っています。今後も季節に応じた環境整備と安全対策を継続してまいります。

- ・何かひとつでも他校にないものを創り出すこと

生徒アンケートでは「他学年との仲の良さ」を誇りにする生徒がたくさんおり、明成の強みの一つであると考えます。挑戦・協働・貢献を生徒も先生も様々な場面で意識してきた成果と考えます。

- ・電話できる時間帯をもう少し長くしてほしい。



教職員が日中の教育活動に専念できるよう、17時30分以降は留守番電話対応としております。教職員が心にゆとりを持ち、一人一人の子どもたちと向き合うことが、よりよい教育につながるかと考えておりますのでご協力をお願いいたします。なお、対面による二者懇談を定期的に設けておりますので、ぜひご活用ください。

- ・今のままで十分素晴らしい
- ・毎日明るく送り出し、元気に帰ってくることを望んでいます。明るく送り出せない日もありますが、そんな日も元気に帰ってきてくれるので、先生や友達と楽しく過ごしたのだな、と安心します。ありがとうございます。

温かいお言葉をお寄せいただき、誠にありがとうございます。保護者の皆様の温かいご支援、ご理解は私たちに大きな支えであり、日々の教育活動に取り組む原動力となっています。今後も、学校と家庭が同じ願いのもとで手を携え、子ども達が安心して楽しく成長できる学校づくりに全力で挑みます。

令和7年度 明成中学校経営方針 キーワード

「全力・本気・根気」

～挑戦・協働・貢献、支え高め合う集団～

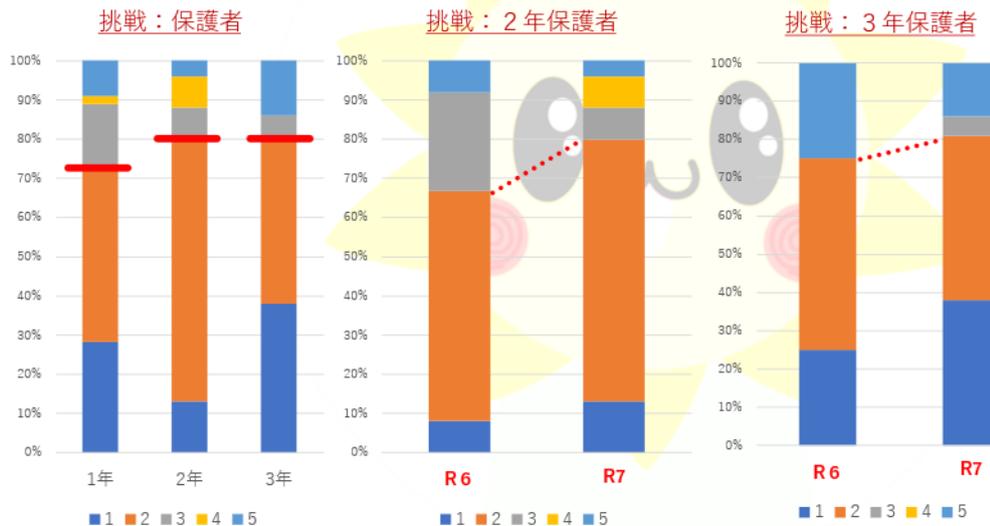
一人一人の子どもを主語にした教育
生徒の心に寄り添う教育(岩見沢型ピア・サポート)
変化・進化する学校
信頼される学校(日の出愛)
職員の働き方

R7学校評価 保護者の結果から

明成中学校

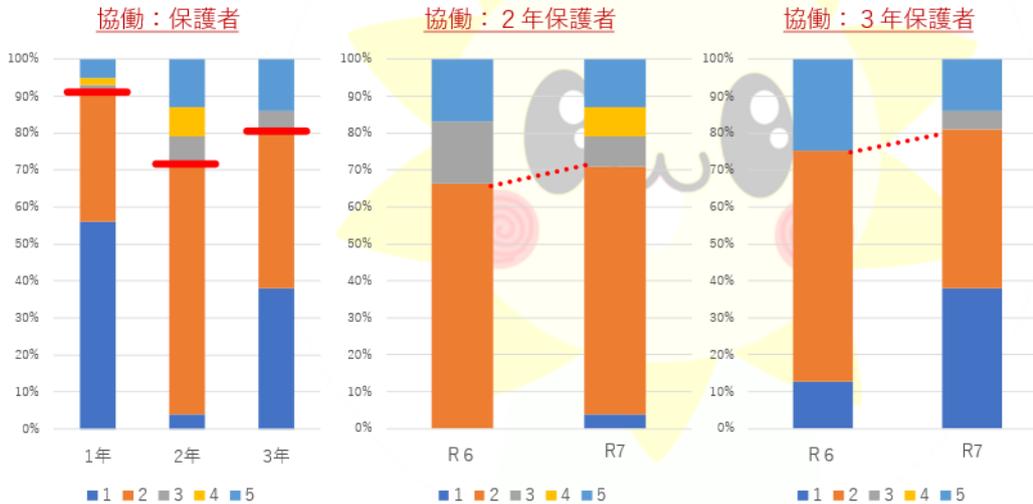
【挑戦】 学校は失敗を恐れずチャレンジする生徒の育成に努めている

1：とても思う 2：どちらかというと思う 3：どちらかというと思わない 4：思わない 5：わからない



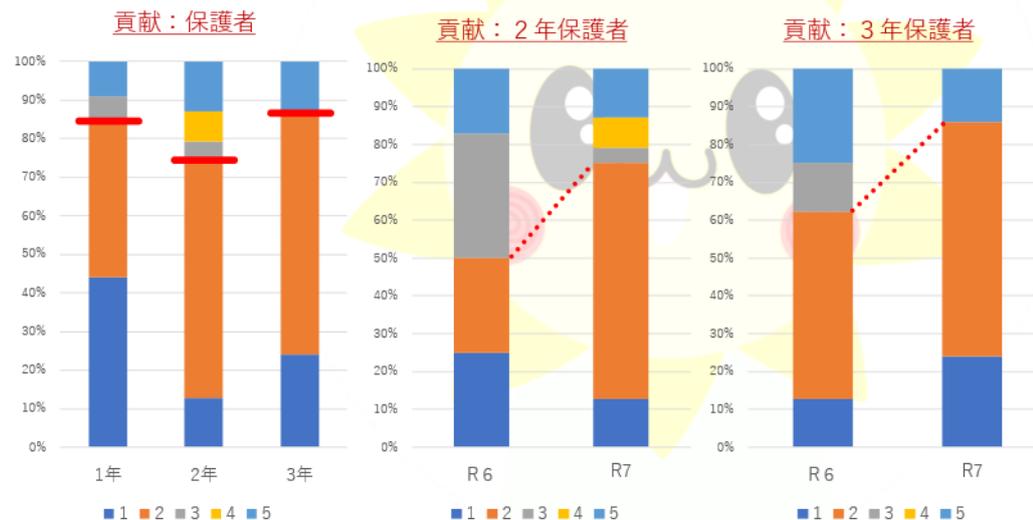
1年保護者の肯定的回答が80%を下回った。小さな経験の積み重ね通し生徒の成長を実感できるよう努める。生徒の様子をブログ等で常に発信していく。

【協働】 学校は個性の違いを受け入れ、支え合うことができる生徒の育成に努めている



2年保護者の肯定的回答が80%を下回った。協働的な学びの充実や縦割り活動の充実に努める。生徒の様子を発信する。

【貢献】 学校は学級や学年など誰かのために行動できる生徒の育成に努めている



2年保護者の肯定的回答が80%を下回った。自ら行動する力を育て、ボランティアや地域行事への参加、異学年交流を充実させる。



令和8年度 明成中学校経営方針

一歩前進

～挑戦・協働・貢献、支え高め合う集団～

生徒一人一人が
「今の自分より、さらに成長している自分」を想像し
日々の努力を続けて欲しい



成長し続けようという中学生を育む

